

「金融論」の採点結果

1. 経済学部 経済学科(2~3年次)の試験結果：有効受験者86名

うち90点以上	3名	よく頑張りましたね。最高は96点です。
80点~89点	12名	気を抜かずに、これからも金融を勉強しましょう。
70点~79点	28名	金融の奥を理解するには、もうひと踏ん張りが必要です。
60点~69点	28名	可くらいで安心しては卒業後に苦労しますよ。今後 も新聞などをよく読んで、金融の知識を深めましょう。
50点~59点	10名	可までもう少し頑張りましょう。授業を馬鹿にしないで。
40点~49点	5名	可まで遠い道のりです。授業に出る習慣をつけましょう。
39点以下	0名	最低は45点です。出席不足の 不受が2名います 。

平均 69.3点,合格率 82.6% (優 17% + 良 33% + 可 33%)

分母は受験者

個人の点数を知りたい人は、原則として**メールで時間を約束してから研究室に来て下さい**。研究室にいないことも多いほか、在室のときでも約束なしに突然来られては困ります(アポなしの人は長居しないで下さい)。

(全体の印象)

やさしい問題だった割には、点数が伸び悩んでいます。ただ、合格率は前期末試験に比べて大きく向上しています(前期末 70% 通期 83%)。授業に出たり質問したりして、熱心に勉強した人が多かったからだと思います。後期に大幅に点数を上げた人などは、その努力を大いに賞賛します。よく頑張りましたね、おめでとう。

なお、近畿大学経済学部では、単位取得の要件に「**授業に3分の2以上出席すること**」(ゼミと基礎ゼミは4分の3以上)があります。今回の不合格者は、この条件を満たさずに単位をとることがいかに難しいかを、よく噛みしめて下さい。

2. 経済学部 総合経済政策学科(2~3年次)の試験結果：有効受験者 63名

うち90点以上	3名	よく頑張りましたね。最高は100点です。
80点~89点	9名	気を抜かずに、これからも金融を勉強しましょう。
70点~79点	25名	金融の奥を理解するには、もうひと踏ん張りが必要です。
60点~69点	17名	可くらいで安心しては卒業後に苦労しますよ。今後 も新聞などをよく読んで、金融の知識を深めましょう。
50点~59点	4名	可までもう少し頑張りましょう。授業を馬鹿にしないで。
40点~49点	4名	可まで遠い道のりです。授業に出る習慣をつけましょう。
39点以下	1名	最低は35点です。出席不足の 不受は2名です 。

平均 69.5点, 合格率 85.7% (優 19% + 良 40% + 可 27%)

分母は受験者

個人の点数を知りたい人は、原則として**メールで時間を約束してから研究室に来て下さい。**

(全体の印象)

やさしい問題だった割には、点数が伸び悩んでいます。ただ、前期末試験と比べて合格率が大きく向上しました(前期末 66% 通期 86%)。後期に大幅に点数を上げた人などは、その努力を大いに賞賛します。おめでとう。

ただ、ある程度真面目に勉強している人とそうでない人(手を抜いている?)の二極分化が目立ちます。皆さんの人生にとって、要領よく立ち回ること(ここではある程度の点数を取ること)だけが目的ではないでしょう。残念ながら「金融論」という分野にはさほど興味がなかったのかも知れませんが、若いうちに何かに本気で挑戦することをお勧めします。皆さんには、それだけの地力があると思うのですが・・・

以 上

「金融論」中間試験の採点結果(50点満点+ で採点)

1. 単位取得の条件と受講の心構え

シラバスにもあるとおり、通期でみて3分の2以上の授業に出席していない人は、単位認定の対象外です。また、試験に不真面目な回答をした人(試験会場で例示します)についても、同様に単位認定の対象外です。

受講生の皆さんにとっては、目先の単位取得が大事かもしれませんが、しかしながら、皆さんの就職活動や、社会人としての生活を展望すると、**金融論を学生のうちに正しく理解することが大切です**。バブル崩壊後に金融制度が大きく変わり、金融論の知識が金融機関で働く人だけでなく、事務職や営業職の人にとっても、さらには家計にとっても、不可欠なものになっているためです。私の授業では、実務経験を活かして、類書には出ていない非常に重要な内容についても話していきます。

単位認定の対象外になった人でも、私語などで他人に迷惑をかけない限り、私の授業に出ることを拒否しません。確かな金融知識を身につけるよう、努力しましょう。

警告！：特に4年生への進級がかかっている人は、この機に後半の勉強方針を真剣に考えて下さい。もちろん、勉強せずに不合格になるのも皆さんの自由です。

私の授業では出席点を一切つけません(足切りの基準とするだけです)ので、授業内容をしっかり理解するように努力しましょう。今回の成績が良くなかった人は、後半部分の授業でどのように対応すればよいかよく考え、しっかりとした行動に移す必要があります。

2. 経済学部 経済学科(2~3年次)の試験結果：受験者 94名

うち50点以上	2名	このまま勉強すれば優の可能性大(よく努力しました)
40点~49点	10名	このまま勉強すれば優の可能性
35点~39点	32名	このまま勉強すれば良の可能性
30点~34点	22名	このまま勉強すれば可の可能性 <u>気を抜かずに</u>
25点~29点	13名	後期に頑張ればなんとか可となるかも
20点~24名	15名	後期にかなり頑張って勉強しないと不合格
19点以下	0名	後期に大いに頑張って勉強しないと不合格
平均点 33.3点	最高 54点	最低 21点

(全体の印象)

今年は毎回出席を取っていること、おまけの問題が昨年より5点分多かったこと、等から昨年よりは平均点がかなり上がっています(昨年の平均点は30.8点)。しかし、出席率100%なのに30点を大きく下回っている人もいます。出席だけで安心してはいけません。

(採点関連の注意点)

国債の流通金利と国債価格は反対方向に動きます(例えば、流通金利が上昇すれば国債価格は下落)。わが国では、殆どの国債が固定金利ですから、**毎期の利払い額と満期の償還額**

が予め決まっています。そこで、売買されるときの国債価格を変動させて流通金利を調整する訳です。例えば、国債価格が 100 円から 98 円に下がれば、残存期間が 10 年の場合、1 年当たり 0.2%あまり流通金利が上昇します。10 年間で 2 円儲かることを年率換算したものです。この機会に、上記のメカニズムをきちんと理解して下さい。

「相対取引」は授業でも毎回話したとおり、「**あいたいとりひき**」と読みます。この用語は、金融の基本用語ですので、この機会に正しい読み方をしっかり覚えて下さい。

「直物取引」は「**じきものとりひき**」と読みます。この用語は、金融派生商品や外為関連でよく使われますので、この機会に正しい読み方をしっかり覚えて下さい。

固定金利・変動金利（長期金利が満期まで金利を定めているか否か）と、固定相場制・変動相場制（為替レートが一定か否か）を混同した人もいました。

警告！：前半のままで単位を取れそうな人は **70%だけ**です。残り 30%の人は、後半に心を入れ替えて大いに勉強しないと、単位を取れません。こうした人たちは、まず**後期の授業に真面目に出ないと、単位取得は難しいでしょう**（レジュメだけで高得点を得るには、かなり幅広い予備知識が必要です）。

3. 経済学部 総合経済政策学科（2～3年次）の試験結果：受験者 71名

うち 50 点以上	0 名	このまま勉強すれば優の可能性大（残念ながら 0）
40 点～49 点	12 名	このまま勉強すれば優の可能性
35 点～39 点	24 名	このまま勉強すれば良の可能性
30 点～34 点	11 名	このまま勉強すれば可の可能性 <u>気を抜かずに</u>
25 点～29 点	14 名	後期に頑張ればなんとか可となるかも
20 点～24 点	9 名	後期にかなり頑張って勉強しないと不合格
19 点以下	1 名	後期に大いに頑張って勉強しないと不合格
平均点 33.0 点	最高 49 点	最低 18 点

（全体の印象）

経済学科と同じ理由で、昨年よりは平均点が少し上がりました（昨年の平均点は 32.5 点）。しかし、出席率 100%なのに 30 点を大きく下回っている人もいます。単位を取れそうな人の割合も、昨年の 83%から大きく低下しています。成績の悪い人は特に 3 年生に目立ちます（もちろん 2 年生にもいますが・・・）。経済学科よりも、平均点、合格しそうな人の割合ともに劣っているのには、大いに驚いています。入学時の偏差値の高さに胡坐をかいてはいけません。

警告！：前半のままで単位を取れそうな人は **66%だけ**です。残り 34%の人は、後半に心を入れ替えて大いに勉強しないと、単位を取れません。こうした人たちは、まず**後期の授業に真面目に出ないと、単位取得は難しいでしょう**（レジュメだけで高得点を得るには、かなり幅広い予備知識が必要です）。

以上